



日本のファミリーへ 国内外の選りすぐりの商品と ライフスタイルを提案します。



GLOBBER
THE WORLD ON WHEELS

SKIP*HOP

munchkin
Use the little things.

Sassy

Petstages

BabyHopper

FAD

Solby

D.fesense

D
BY DADWAY

海外輸入ブランド

ベビー、キッズ、ペット用品の海外ブランドから選りすぐりの商品を発掘。日本のファミリーに新たな提案をします。

オリジナルブランド

パートナーシップを大切に、提携する工場とオリジナル商品を開発します。

DADWAY®

事業領域

- ・ブランドマーケティング事業
- ・商品開発事業
- ・卸売事業
- ・小売事業
- ・室内遊び場事業
- ・アフタースクール事業
- ・飲食事業
- ・物流倉庫事業



お客様・お取引先様の多様なニーズに合わせて最適な商品・サービスを提供します。

全国の取引店舗様

自社の店舗・オンラインショップ



トップメッセージ

お父さんの子育てをもっとおもしろ楽しくしたい！
ペットとのふれあいををもっとおもしろ楽しくしたい！



代表取締役社長
白鳥 公彦

ダッドウェイは1992年に誕生しました。

創業当時の日本では子育ては母親の仕事だと決めつけられていました。しかし、私はわが子が生まれてまもなく、自然の中に連れ出して、キャンプなどのアウトドア遊びを通じて深く接しました。育児はたいへん忍耐を要する、骨の折れる作業ですが、その苦労をしてもなお余りある喜びと充実感を与えてくれるもの、そして自己を成長させてくれる最高のチャンスなのだと痛感したのです。

「こんな素晴らしい育児を母親だけに任せておくのはもったいない！！」そう思い、私はダッドウェイを設立しました。

以来、世界中からおもしろ楽しい育児用品、知育玩具を探し出したり、オリジナル商品を企画しています。

ダッドウェイのスタッフはみな、レイチェル・カーソンの提唱する「The Sense of Wonder」*の感性を大切にしています。豊かな感性をもって、このかけがえのない地球を笑顔あふれる家族でいっぱいになりたい…

それがダッドウェイの望みです。

*レイチェル・カーソン…米の女性生物学者(1907-1964)。没後に出版された「The Sense of Wonder」は甥のロジャーと過ごした日々を、広大な自然とのふれあいを通じて描いた世界的ベストセラー。幼少時から自然の不思議さ・素晴らしさに触れることの大切さを説き、自然環境教育のバイブルとなる。

ダッドウェイのあゆみ

- 1991年 ● 白鳥公彦・由紀子が父親の育児支援をコンセプトとするダッドウェイプロジェクトを立案し試作品を作り始める。
- 1992年 ● 10月1日(株)ダッドウェイ創立。横浜市神奈川区菅田町に営業所を開設し、自社開発の抱っこひも「2WAYベビーホルダー」はじめ27品目の販売を開始。育児用品メーカーとして第一歩を踏み出す。
- 1994年 ● ベビーバッグ社製「フリース」を発売開始。日本のベビー市場で初めてフリース製品を紹介。
- 2001年 ● 「Sassy」が「赤すぐ」誌上にデビュー、カラフルな知育玩具が大反響に。
- 2004年 ● 「Petstages」販売開始。ペット業界に参入。
- 2006年 ● オリジナルブランド「Solby」がブランド展開開始。
- 2008年 ● ハワイ生まれの抱っこひも「Ergobaby」を導入。ユーザーの支持を受け大ヒット。
- 2009年 ● ドイツ No.1 ほ乳びん・おしゃぶりブランド「NUK」販売開始。
- 2012年 ● ダッドウェイ創立20周年。物流倉庫の自社運営を開始。
- 2013年 ● オリジナルアパレル「DADWAY Apparel」デビュー。
(後に D.fesense に改名)
- 2015年 ● オリジナルデザインレーベル「D BY DADWAY」発売開始。
オリジナルのペットブランド「FAD」「FAD+」発売開始。
- 2016年 ● 室内遊び場「DADWAY PLAYSTUDIO」オープン。
- 2017年 ● 創立25周年記念「感謝の記」プロジェクト。
「Ergobaby OMNI 360」グッドデザイン賞受賞。
- 2018年 ● (株)ダッドウェイホールディングス設立。
「よこはまグッドバランス賞」7回継続賞。
「横浜健康経営2018」クラスAA認証事業所。
- 2019年 ● アフタースクール「ダッドウェイラーニングセンター横浜関内校/新横浜校」、親子カフェ「バイタルミールズバイダッドウェイ」オープン。
「よこはまこどもカレッジ」開校。



2WAYベビーホルダー



Sassy



NUK



D.fesense

CSR の考え方

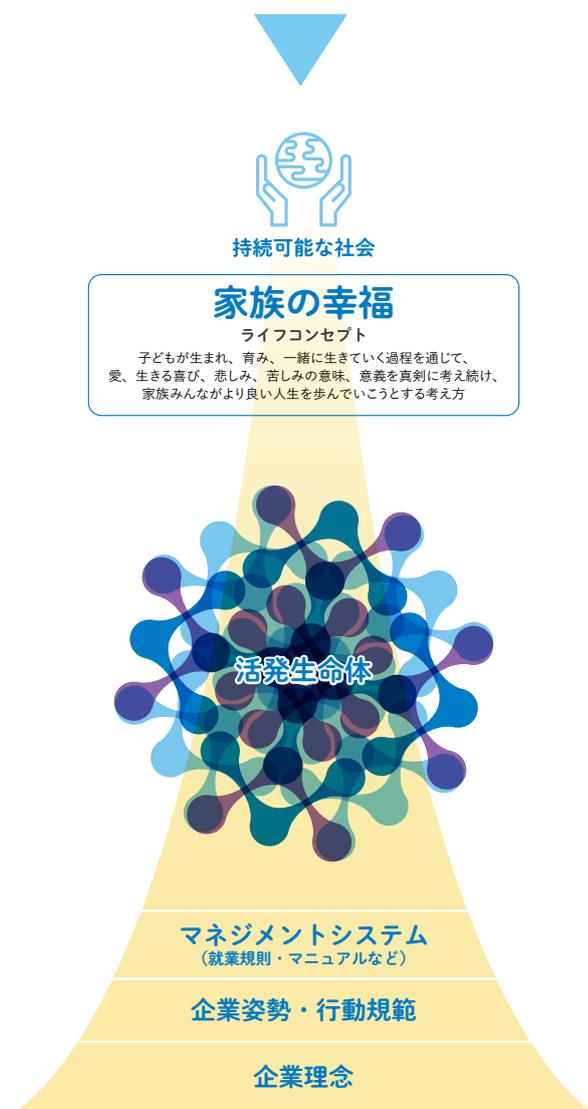
「自分は何のために生きているのだろうか？」とう自問自答するように、「ダッドウェイは何のために存在するのだろうか？」と私たちは問い続けます。

それは、お客様、お取引先様、社員はもとより、いまを生きるすべての家族の幸福のために〈新たな価値を提供し続ける〉ことであり、そのために今日の社会全体のさまざまな課題に対して積極的に取り組むことです。

少子高齢化、格差拡大、環境問題、動物との共生など、持続可能な社会の阻害要因に対してアプローチすることは、新たなビジネスチャンスを得て、事業のあり方を改善することに繋がると考えています。いきいきとおもしろ楽しく仕事ができる環境を整えながら、社会課題の解決と事業収益を両立させ、企業の存続へと繋げる「戦略的 CSR」を実践していきます。

次ページより、2019 年度に実施した CSR の取り組みを紹介いたします。

ダッドウェイのCSR



当社で取り組む本業に「戦略的 CSR」を融合させ、持続的に活動するために CSR 推進室を設置します。CHO (Chief Health Officer) である副社長を筆頭に「マネジメント・システム」を構築して PDCA サイクルを仕組化します。

企業理念

お父さんの子育てをもっとおもしろ楽しくしたい！
ペットとのふれあいをもっとおもしろ楽しくしたい！
笑顔あふれる家族でいっぱい。
ダッドウェイはしあわせな家族づくりをお手伝いします。

企業姿勢

- ・ライフコンセプト (life-concept) を提唱し、家族の幸福を応援します。ダッドウェイが提唱する「ライフコンセプト」とは、子どもが生まれ、育み、一緒に生きていく過程を通じて、愛、生きる喜び、悲しみ、苦しみの意味、意義を真剣に考え続け、家族みんながより良い人生を歩んでいこうとする考え方と定義します。
- ・センス オブ ワンダー (sense of wonder) をキーワードとし、好奇心、探求心、向上心を大切にし、実行を重んじます。
- ・未来のために先祖、両親を敬い、孝行します。
- ・お取引先様、社員およびその家族の幸福の最大化を目指します。
- ・オープンでフェアな企業行動を心がけ、誠実で信頼される企業を目指します。
- ・ダッドウェイで働く全ての人の個性を尊重し、いきいきと楽しく、おもしろく仕事ができる企業を目指します。
- ・円滑なコミュニケーションを心がけ、チームワークと総合力の向上に努めます。
- ・自然を慈しみ、地球環境をたいせつにする企業を目指します。

活発生命体とは

チャレンジ精神と行動力旺盛な「活動推進力」、豊かな発想に富む「発想不思議力」、生への感謝の気持ちを忘れない「生感共生力」、命を畏敬して全うする「命尊立命力」、自己を大切にする「体育自愛力」の5つの造語の集合体です。ダッドウェイ社員の一人ひとりが、これら5つの力にあふれるダイナミックな「活発生命体」であることを心がけています。

安心・安全

品質／顧客対応

商品・サービスの品質を日々向上させ、本業を通してお客様、お取引先様に価値のある新しい体験を提供します。ベビー・キッズ用品事業は、機能性重視のアイテムをベースに女性のおしゃれ心をくすぐる商品までを取り揃えています。さらに、ペット用品、アフタースクールなど多様な事業を通してお客様との新たな接点を創り続けています。

●品質を向上し、安全を第一に

育児用品の「品質方針」「製品安全方針」の策定と実践

品質保証・安全・安心への取り組みについて「品質方針」「製品安全方針」「海外の規格・基準に基づく玩具の安全検査」「事故の未然防止」に項目を分け、コーポレートサイトに掲載しております。 <https://www.dadway.com/company/safety/>

●お客様・お取引先様に価値ある体験を提供します

WEB 発注システムの更新

お取引先様がタイムリーに商品在庫や受注残状況を確認することができ、売れ筋商品や新商品情報も容易に入手可能に。またレスポンス対応でお取引先様の利用端末に合わせて利用できユーザビリティが向上。提案型発注システムへの変化を遂げました。

エルゴベビー・ベビーキャリア、抱っここのポイントを公式インスタに掲載

多くのママパパに抱き方のコツをお伝えするために、スタッフによる装着動画や親しみやすいイラストなどを投稿。フォロワーは 33,000 人にのびりました。



抱っここの動画が好評の公式Instagram

エルゴベビー・ベビーキャリア、正規品を対象にした修理サービス

バックルの破損など毎月約 300 件の修理対応を自社で行い、95% を超えるお客様からの満足度を達成しました。



末長くご愛用いただくための修理サービス

お客さま相談窓口の「通話先案内」を撤廃。入電混雑が緩和し応答率向上

窓口での応答率を向上させるため、回線の有効活用とおお客様のストレス軽減を図るべく「通話先案内」を 11 月に撤廃。応答率の目標 85% に対し、90% 以上の実績を維持しています。これからも丁寧な対応を心がけます。

「GLOBBER 親子体験会」を有料化、病児保育支援の NPO に寄付

家族向け体験型イベントとして好評のグローバ体験会を有料化。お客様に参加料が病児保育支援になる社会的意義を伝え、特製リストバンドを提供しました。通年で 1300 人以上の子どもが参加し、全額を NPO 法人フローレンスに寄付しています。



グローバ体験会を有料化し病児保育の NPO を支援

「Kaloo 日本上陸 20 周年オリジナル商品」を発表

フランスのベビー雑貨「Kaloo（カルー）」の日本上陸 20 周年を記念して、記念商品「Kaloo20th スワドル」を発表しました（11 月）。日本のものづくりと初めてのコラボとなるこの商品は、売上の一部が世界の妊産婦を守る「国際 NGO ジョイセフ」に寄付され、アフガニスタンの母子保健クリニックの活動に充てられます。東日本大震災時にカルーがおくるみやぬいぐるみを被災地に提供して以来のご縁が、今回の取り組みにつながりました。



仏大使館での 20 周年記念レセプション

動物殺処分ゼロ支援プロジェクトとコラボしたペット商品を共同開発

アーティスト SEKAI NO OWARI が立ち上げた動物殺処分ゼロ支援プロジェクト「ブレイメン」に賛同し、7 月に犬用おもちゃと猫用おもちゃの商品を発売。多くのお客様に共感いただき、売上の約 15% が地方自治体や認定 NPO 法人へ寄付されます。



「ブレイメン」とのコラボ企画

「パパママありがとうキャンペーン」、「こうちゃんと遊ぼう親子ふれあい遊び歌」

母の日父の日のシーズンにあわせ、直営店で初めての他社協働のプレゼント企画、イベントを実施。ジャルパック様や東京ガスショールーム様のお客様に自社のサービスを届けました。



直営店初の他社協働イベントを実施

商品・サービスを通じた CSR の継続事業

ドイツの No1 ほ乳びん・おしゃぶりブランド「NUK（ヌーク）」を通して小児歯科医を講師に招いた「いい歯の日」セミナーを展開（11 月）。赤ちゃんの口腔周囲筋を鍛えることが歯並びに良い点をお客様にお伝えしています。また室内遊び場 PLAYSTUDIO の「ダウン症児親子リトミック」ではハンデキャップのあるお子様が安心して楽しめる場を、ご家族と創っています。

なお、物流倉庫 Logistrage では、お取引先様からのニーズにより一層応えるべく増床を行いました。今後も外販売上を獲得する「営業倉庫」機能を拡大させます。



「NUK」による「いい歯の日」セミナー

Pick Up!

新規事業

アフタースクール事業 DADWAY LEARNING CENTER

一人ひとりの子どもと家族のニーズに寄り添うメンターシップを大切にダッドウェイラーニングセンター横浜関内校（4 月）、新横浜校（10 月）を開校。共働き家庭の課題を解決すべく、プログラミングや英語などの習い事、送迎や食事サービスをワンストップで提供します。



親子カフェ事業 VITAL MEALS BY DADWAY

赤ちゃん連れの買い物中に気軽に立ち寄れる親子カフェ、バイタルミールズバイダッドウェイを横浜ベイクォーターに 7 月にオープン。SNS 上で楽しい！助かる！とクチコミが拡散しています。



環境

マザーアース（母なる地球）という言葉があるように、人間はみな本来、自然の一部。社員は自然に畏敬と感謝の念をもって接し、楽しんでゆくことによって環境保護の大切さを学び、持続性のある社会を次世代に引き継いでゆきます。

●自然を慈しみ、地球環境を大切にします

全国 27 店舗でのプラスチック包装の削減

プラスチック・ビニール素材の削減のために、非木材紙のショッピングバッグを全店で採用。12月からラッピング袋はコットン製にして、お客さまが再利用できる丈夫でおしゃれなものにしました。お客さまのお申し出がない限り「お渡し用の袋」を省き、「フォレスト基金」を通じて植林・森林保護に寄与しています。

環境団体の継続支援

「公益財団法人かながわトラストみどり財団」、「NPO 法人道志水源林ボランティアの会」に寄付して、地域の緑と水資源保護を支援しています。

海外ブランドにおける CSR の継続事業

ダッドウェイが正規販売している海外ブランドも独自に CSR を実践しています。磁石が入った積み木「Tegu（テグ）」は中南米ホンジュラス産。最貧国のひとつである地元雇用を生み自然を守ることをミッションにしています。またタイの木製玩具メーカー「wonderworld（ワンダーワールド）」は植林事業“ツリープラス”をマングローブの海で継続しています。



リユースしやすいコットン製のラッピング袋



写真 / (公財) かながわトラストみどり財団

● 2019 年度の主な受賞歴

・第 11 回たまひよ赤ちゃんグッズ大賞 2019

抱っこひも部門 1 位 エルゴベビー・ベビーキャリアシリーズ

・Pre-mo ママが選んだ育児グッズ 2019

抱っこひも部門 1 位 エルゴベビー・ベビーキャリア OMNI 360 クールエア

・ママタスアワード 2019 秋

育児部門【抱っこひも】 エルゴベビー・ベビーキャリア ADAPT クールエア ディープブルー

・ママリ口コミ大賞 2019 秋

【抱っこひも部門】大賞 エルゴベビー・ベビーキャリア ADAPT

【抱っこひも部門】受賞 エルゴベビー・ベビーキャリア OMNI 360

【抱っこひも部門】受賞 エルゴベビー・ベビーキャリア オリジナル

【ほ乳びん部門】受賞 ヌーク プレミアムチョイスほ乳びん

【0歳向け絵本部門】受賞 KADOKAWA Sassy のあかちゃんえほん にこにこ（監修：DADWAY）

・ゼクシィ Baby 人気育児ブランド口コミランキング

おしゃぶり部門 No.1 ヌーク おしゃぶり・ジーニアス 2.0

・ママガール ママが選ぶ！最強コスパ大賞 2019

抱っこひも部門 1 位 エルゴベビー・ベビーキャリア

まず、愚直であれ。“Honesty is the best Policy” ダッドウェイは愚直であり続けます。

●オープンでフェアな企業行動を心がけ、誠実で信頼される企業を目指します

全社員を対象にハラスメント研修を実施

「労働施策総合推進法の改正」を受け、社内においても防止対策実施のルールを改訂。相談窓口の担当者や防止対策委員会を設置してフローを明らかにしました。また7月には社会保険労務士を招いた研修やオリジナルのポスターで意識向上に努め、全社員アンケートで実態調査を行い公表しました。

テグ製品の自主回収の実施

正規総代理店として輸入・販売するマグネット入り積み木「テグ」について、お客様より不具合の連絡を受け、迅速に対象4商品の自主回収をHPで告知、社内受付窓口を開設しました(8月)。

エルゴベビー・ベビーキャリアの表示管理体制の強化

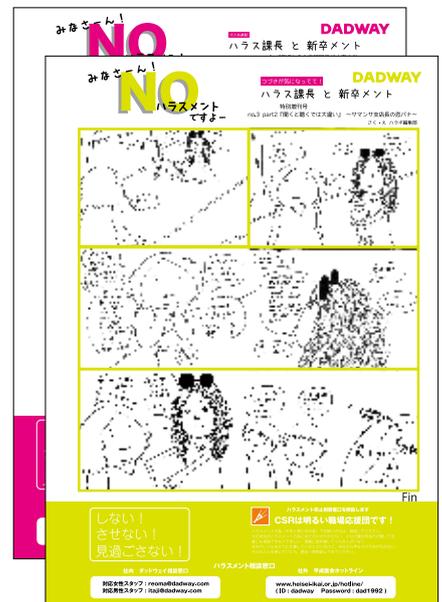
消費者より、景品表示法に違反するとして「Ergo baby (エルゴベビー)」の「ADAPT」「OMNI 360」「ORIGINAL」「360」が措置命令を受けました(12月)。外部専門家によるコンプライアンス教育や表示管理体制のフローを見直すなど再発防止に努めています。

BCP 対策の一環として社内サーバーの一部を試験的にクラウド化

災害などの緊急事態発生時に、被害を最小限に抑え早期の復旧を図る BCP (事業継続計画) 対策として、社内サーバーの一部をクラウド化しました。またクラウド化に耐える環境づくりのために、インターネット回線を強化しました。

経営計画書配布における情報開示

第15期経営計画発表会(3月)において、社員・金融機関などへの財務・業績と予算計画の情報開示をしています。



ハラスメント防止の社内啓発ポスター



新横浜プリンスホテルでの第15期経営計画発表会

働き方

雇用／労働安全衛生

全社員は企業理念という共通の志をもつ、いわば同志。私たちはお互いの人間性と個性を尊重し合い、よい影響力（ストローク）を与えあいます。お取引先様、社員およびその家族が共に幸せになれるにはどうしたらよいかを絶えず考え、行動し続けています。

●いきいきとおもしろ楽しく仕事ができる環境づくりを通して、お取引先様、社員およびその家族の幸福の最大化を目指します

8年連続新卒採用および高齢者・障がい者の雇用

「よこはま女性のリーダーシッププログラム」に参画

（公財）横浜市男女共同参画推進協会が運営するリーダー養成プログラムに女性若手管理職が参加。（2019年9月－2020年2月）

健康経営の実践

健康診断の受診率が昨年比で約2%アップ、95%を超えました。また月曜朝の「朝礼ストレッチ体操」、異なる部署のスタッフ交流を促す「コラボランチ」、健康漢方茶の社内定期販売サービスなど、社員が考案した仕掛けの他、「東京マラソン」「ジョイセフホワイトトリボンラン」「横浜ドラゴンボートレース」などの恒例イベントに有志が楽しく参加しています。

ファミリーデーの実施

社内で働くすべての方を対象に初めてのファミリーデーを開催(8月)。新横浜本社にて、職場をめぐり仕事内容を伝える「社内ツアー」や、参加者でお弁当を囲む「みんなでランチ」や「絵本と音楽のお楽しみ会」などを開催。30家族57人をご招待して、お子さん、配偶者はじめご両親やご兄弟、彼氏彼女も参加した活気のあるイベントでした。



社員とその家族が参加したファミリーデー

「神奈川県家庭教育協力事業者」協定と活動

神奈川県教育委員会との「協力事業者」の協定をもとに、家庭や地域の教育力の充実に向けて、社員の家庭教育に係る活動を推進しています。

●円滑なコミュニケーションを心がけ、チームワークと企業の総合力が向上する「ウェルビーイング経営」を実現します

社内で働くすべての方が参加した対話プログラム

本音と傾聴の対話（ダイアログ）で、社員の相互理解と幸せな職場づくりを実現しようと、年間を通して全管理職と一般社員が慶應大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科による8回の研修に参加。自社の課題を全員で見える化することを目指しています。

修理サービススタッフの「プチなお直し屋」

抱っこひも修理サービスの社員が、社内コミュニケーションに役立てようと本業の閑散期に洋服類の「お直し屋」を期間限定オープン。普段の経験・知識を活かしズボン修理やカードケースホルダーのリメイクを請負いました。仕上がりに喜ぶ社員が続出。売上金は、病気の子どものための夢を支援する公益財団法人「メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン」に寄付しました。

社会貢献

地域貢献／地元活用・地元志向

社会全体の課題である、少子高齢化、格差拡大、環境問題…。健全かつ持続可能な社会を目指すことに対する阻害要因をなくすべく積極的に取り組み、地域社会に求められる企業であり続けるために活動します。

●子どもや若者たちのキャリアを応援します

小中学生へのお仕事体験プログラム

自社の物流倉庫（千葉県野田市）の事業をもっと地域住民の方々に知ってもらおうと、地元の学校と連携した2つの取り組みを実施しました。川間中学校2年生2名の職業体験（6月）では、検品はじめピッキングや梱包などに3日間チャレンジ。川間小学校2年生向けの倉庫見学会（11月）では、業務（入荷・保管・出荷）を支える基本「整理・整とん」の大切さを、児童たちが体感できるプログラムとして実施しました。



川間中学校の生徒は梱包に挑戦

高校生応援企画「Wandering Challenge」に協賛

「ワンダリングチャレンジ」とは台湾発、全世界1万人の若者が挑戦している国際大会。県下の高校生3名一組が与えられたミッションに挑む日本版企画に協賛しました。当社からのミッションは「お弁当を贈ろう」。いつも作ってもらうばかりのお弁当について考える機会を提供し、21組が応募。素敵なエピソードの中から、優秀賞を贈呈しました。



倉庫見学会では社員が優しく説明

大学生インターン生の受け入れ

2名の短大生・大学生をインターンとして受け入れ、会社業務が理解できる実践型プログラム（お題をもとにTシャツのデザイン考案しプレゼンする等）を実施しました。



横浜F・マリノスのJリーグ優勝にもひと役買った(?) キッズエリア 写真/©1992 Y.MARINOS

●様々な団体と協働し、地域課題を解決します

日産スタジアムでのキッズエリア設営

横浜マリノス株式会社と協働し、サッカーを観戦しにきた子どもたちが遊べるエリアを日産スタジアム内コンコースに設置。同社のHP、チラシ、ポスターを通じて多くのお客様で賑わいました。年間8試合の間に、キッズエリア、赤ちゃん休憩室での玩具設置、キックスターターの試乗会などが大好評でした。



半年間で40回開催され、のべ1500人以上の親子が参加している「よこはまこどもカレッジ」

(株)パパカンパニーと「よこはまこどもカレッジ」を開校

個性豊かなスキルを持つ大人たちと、子どもに多様な学びを与えたい家族のニーズをマッチング。6月には(株)パパカンパニーと提携して、横浜市内の各種施設(公園・商業施設・教育機関など)に様々な学びの場と、人の賑わいをもたらすサービスを始めました。

慶應大学 SDM 研究チームと親子カフェでプレママ・ママ向け ワークショップ

「幸福学」が提唱する「幸せの4つの因子」にそったメソッドで、親も子ども幸せになる子育て講座(連続4回)を実施。ママ・プレママたち15組が親子カフェ「バイタルミールズ バイダッドウェイ」に集いました。



カフェメニューもついてリラックスした雰囲気

日本介助犬協会、日本盲導犬協会

愛・地球博記念公園（愛知県）開催の「介助犬フェスタ 2019」に出展（5月）。また盲導犬ユーザーへの声かけ「お手伝いしましょうか？」プロジェクトに協賛しました。

絵本 de あそぼうお話し会

「子どもの成長に大切な心の栄養をつくるのは、いろんな大人たちとの、おはなし時間やたくさんふれあひあそび」をテーマに、絵本を使って子どもたちと遊ぶお話し会を開催。全国5都道府県14カ所の子育て施設で実施しました。参加費は小児がんの啓発活動をする「みんなのレモネードの会」へ全額寄付しました。

横浜市内の児童福祉施設での取り組み

児童福祉施設のクリスマスや季節行事に、ダッドウェイ社員が出向き楽器を演奏。子どもたちや職員の方々と音楽の交流を行いました。またクリスマスには「横浜サンタブプロジェクト」、「NPO法人横浜こどもホスピス」へ玩具提供しました。

港北区役所と子育て分野で連携協定。行政×企業で区内初の締結

子育て世帯、妊婦及び出産を控えた世帯の支援、父親の育児支援、地域防災拠点へ物品提供など「港北区で子育てしてよかった」と感じてもらえるサービスの連携を推進します。

●災害支援

関東地方はじめ甲信、東北など広域被害をもたらした台風19号。玩具、抱っこひもなど物資支援とともに、合計100万円の支援金を以下の4つの団体に寄付しました。（10月）

- ・日本助産師会災害対策基金
- ・日本赤十字社 神奈川支社
- ・全国社会福祉協議会（現地支援をするボランティア活動の窓口機関）
- ・認定NPO法人日本レスキュー協会（被災した犬猫の保護および災害救助犬の養成団体）

また被災地域である千葉県袖ヶ浦市の保育園で「絵本 de あそぼうお話し会」を無償で開催しました。（12月）

●情報発信（講演・メディア掲載等）

〈社長〉書籍「無常識 ゼロベースで生きる」幻冬舎MC刊（2020年3月）
〈副社長〉厚生労働省 男性の育休休業取得促進事業検討委員（2019年4月～2020年3月）
横浜市IDEC女性起業家メンタープログラム メンター（2019年4月～2020年3月）
成城大学キャリア講座（7月）
富山県イクボス&チーフ・オフィサー講演会（7月）
〈社員〉横浜商科大学商学部「グラフィック&プロダクト研究講座」（12月）
横浜銀行「令和のブレババ・ブレママセミナー」（2020年2月）

●寄付先団体

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン／公益財団法人ジョイセフ／社会福祉法人真生会 白百合ベビーホーム／公益社団法人 神奈川県助産師会／国立成育医療研究センターの医療型短期入所施設 もみじの家／NPO法人 ファザーリング・ジャパン／公益財団法人そらぶちキッズキャンプ／公益財団法人 かながわトラストみどり財団／NPO法人道志水源林ボランティアの会／東日本大震災支援ライブ「笑顔をつなぐチャリティプログラム」／みんなのレモネードの会／公益財団法人 日本盲導犬協会／一般社団法人 盲導犬総合支援センター／社会福祉法人 日本介助犬協会



社員の子どもが通う保育園で開催することも



初めての楽器を見て聴いて。子どもたちの音楽体験



港北区長、区のキャラクター“ミズキー”と調印式



代表取締役社長 白鳥公彦による初めての著書



横浜銀行のセミナーには25組の夫婦が参加

●会社概要

(2020年4月現在)



会社名	株式会社ダッドウェイ
英語名	DADWAY, INC.
本社	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目15番12 TEL 045-471-3443 (代表)
ウェブサイト	http://www.dadway.com
創業	1992年10月
資本金	3,000万円
決算月	2月
代表取締役社長	白鳥 公彦
従業員数	294名
事業内容	ベビー用品・玩具・スポーツ用品・アウトドア用品・ペット用品等の企画・開発ならびに輸入・製造・販売、コンピュータシステム・ソフトウェアの研究開発とその販売、イベントの企画・運営、ロジスティクス業務並びに輸出入代理業、不動産の賃貸管理業、コンサルティング業、アフタースクール・学習塾・レッスン教室の経営
取引銀行	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、千葉銀行、横浜銀行、静岡銀行、東日本銀行、横浜信用金庫、城南信用金庫、商工中金 (順不同)

●店舗

東京：二子玉川ライズ、東京ソラマチ、ららぽーと豊洲、コピス吉祥寺、恵比寿三越、北千住マルイ、南町田グランベリーパーク 神奈川：DADWAY LIFE DISCOVERY 横浜ベイクォーター、マークイズみなとみらい、テラスモール湘南、DADWAY LIFE DISCOVERY ららぽーと海老名、LIFE-AID グランツリー武蔵小杉、DADWAY PLAY STUDIO (室内遊び場)、VITAL MEALS BY DADWAY (親子カフェ) 北海道：札幌ステラプレイス 関東近郊：さいたま新都心、イオンモール水戸内原 東海：タカシマヤゲートタワーモール、ららぽーと名古屋みなとアクルス 関西：なんばパークス、DADWAY PLAYSTUDIO NAMBA (室内遊び場)、LINKS UMEDA、ららぽーと EXPOCITY、あべのハルカス近鉄本店、ミント神戸 中国：ゆめタウン広島、DADWAY LIFE DISCOVERY LECT 広島 九州：福岡 VIORO、マークイズ福岡もち

●アフタースクール

神奈川：DADWAY LEARNING CENTER 新横浜、DADWAY LEARNING CENTER 横浜関内

●取扱ブランド

家族のコミュニケーションツールとして
世界中の国々から商品をご紹介します。

ベビー

Aqueduck / アクアダッグ
Baby Shower / ベビーシャワー アイテム
BABYHOPPER / ベビーホッパー
Babylonia / ベビーロニア
BEABA / ベアバ
BRICA / ブリカ
Cam Cam Copenhagen / カムカムコペンハーゲン
choopie / チューピー
D BY DADWAY / ディーバイダッドウェイ
D.fesense / ディーフェセンス
DESIGN LETTERS / デザインレターズ
Disney KIDEA / ディズニーキディア
Doudou et Compagnie / ドゥードゥー・エ・コンパニー
elou / エロウ
Ergobaby / エルゴベビー
GLOBBER / グlobber
GONGE / ゴンジ
Histoire d'Ours / イストワール・ドゥオース
Janod / ジャノー
Kaloo / カルー
Kitpas / キットパス
K's Kids / ケーズキッズ
Lilliputiens / リリピュション
Maileg / メイレグ
Mamanva être Jalouse / ママン・ヴァ・エートル・ジャルーズ
Mellipou / メリプー
Micralite / マイクラライト
mifold / マイフォルド
MintyWendy / ミンティウェンディ
MOOMIN BABY / ムーミンベビー
munchkin / マンチキン
NUK / ヌーク
OXO Tot / オクソトット
pearhead / ペアヘッド
Real SHADES / リアルシェーズ
Sassy / サッシー
SAUTHON / ソトン
SFIDA / スフィダ
SKIP HOP / スキップホップ
Solby / ソルビー
swanmimi / スワンミミ
tegu / テグ
TRUNKI / トランキ
wonderworld / ワンダーワールド
WOW Toys / ワオトイズ
PERFECT POTION / パーフェクト ポーション

ペット

barketek / バーキテック
Dr. McGrath's / ドクター・マクグラス
FAD / ファッド
FAD+ / ファッド・プラス
GreenLine / グリーン・ライン
ibiyaya / イビヤヤ
LANCO / ランコ
MPS / エム・ピー・エス
Nina Ottosson / ニーナ・オットソン
One for Pets / ワン・フォー・ペット
outward hound / アウトワード・ハウンド
pearhead / ペアヘッド
PetAg / ペタッグ
Petbloom / ペットブルーン
PETKIT / ペットキット
Petstages / ペットステージ
Simply Fido / シンプリィ・ファイド
Suitical / スーティカル
TALL TAILS / トール・テイルズ
WAW / ワウ
Wilbeest / ワイルドビースト
DADWAY PET / ダッドウェイペット



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

